



海辺・川辺調査レポート

■ 名 前 (ふりがな)	大 家 航 輝 (おおいえ こうき)
■ グループ名	_____
■ 学校名	富来町立福浦小学校
■ 学 年	5 学年
■ 年 齢	1 0 歳
■ お手伝いしていただいた方の名前	浜 中 外 治 (祖 父)

■ レポートした場所	石川県羽咋郡富来町福浦港 「福浦漁港」
■ レポートの題名	『今と昔の海のちがい』
■ 内 容	<p>ぼくの住んでいる所は、石川県の能登半島にある福浦港という小さな港町です。</p> <p>今からぼくのおじいちゃんにも手伝ってもらって、港の移り変わりについて調べてみます。</p> <p>ぼくのおじいちゃんの生まれるずっと昔、ここ福浦は渤海国との交流があり、また天然の良港として栄えていました。昭和30年頃には沖合い底引き船が40隻以上、春さきには20隻のいわしのさし網船などでにぎわっていました。しかし、現在は底引き船も大型化され、6隻あまりとなってしまいました。いわしこそとれなくなってしまったけれど、とれる魚は昔とあまり変わりはありません。それはきっと海の水が昔同様よごれていないからだと思えます。</p> <p>次に昭和30年頃の写真と今と比べてみると、ずいぶん港の様子が変わっている事に気がつきました。沖合いに大きな防波堤がいくつも作られています。また、港の周りには、作業をしやすく岸ペギが作られました。しかし、それにより港はせまくなってしまいました。でも、防波堤により波は港に入りこむことはなくなり、せまいながらも安心して船をつないでおける港に変わりました。</p> <p>ぼくのおじいちゃんも小さい船で毎日漁をしています。おじいちゃんはいつものいろいろな魚をたくさんとってきてくれます。ぼくも弟もそれを楽しみにしています。</p> <p>ぼくは、いつまでも福浦がきれいな海と港であってほしいと本当に思えます。そのためにぼくの出来る事は、少しでも海をよごさないように心がけたいと思えます。</p> <p>ぼくは、きれいな空気と潮風のおいにする福浦が大好きです。</p>

写真



◇むかし
昭和3年頃（福浦漁港）※①



◇いま
平成15年8月現在（福浦漁港）



◇むかし
昭和29年頃（福浦漁港）※②



◇いま
平成15年8月現在（福浦漁港）



◇むかし
昭和32年頃（福浦漁港）※③



◇いま
平成15年8月現在（福浦漁港）

※①②③の写真は、瀬戸松之氏（富来町福浦港）の保存資料よりご提供いただきました。